第28回 市長と話そうの様子

開催日時	2026年7月1日（水）　14:00 ～ 15:30	場所	凡と凛dining （大分県臼杵市海添172-10）
団体名	うすき♡わんサークル		
団体概要	人と動物が共に快適に暮らせる臼杵(地域社会)を目指した活動に取り組んでいます。 【具体的取組】 ・イベント等の開催による飼い主のマナー向上の取組 ・市環境課からの依頼等による迷子犬の捜索(周知)活動 ・臼杵湾わんマルシェの開催（令和８年３月）　等		
話し合いのテーマ	①災害時におけるペット避難の現状について ②ドッグランの整備について ③ペットツーリズム(ペット連れ観光)の推進について		
参加者	９名（団体メンバー８名、西岡市長）＋ わんちゃん数匹		

対話の様子

対話では、災害時におけるペット避難の現状やドッグランの整備、ペットツーリズムの推進などについて意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- 「うすきわんサークル」という小さな組織として活動している。「人と動物が共存して幸せに暮らせる臼杵」をスローガンに掲げ、マナー・登録・配慮の啓発を通じて「臼杵のやさしさ」のイメージづくりを推進したい。夢としては「広島市のように殺処分のないまち」を目指したい。
- 今年3月に臼杵緑地公園で「臼杵湾わんマルシェ」というドッグフェスティバルを開催し、目標来場者数1,000～2,000人に対し推定4,000～5,000人の方に来場いただいた。市内外・県外から多数来場し、公園の素晴らしさ・臼杵の魅力をアピールできたと考えている。
- 臼杵市はペットとの同伴避難を認めており、県内でも先進的な自治体の一つである。市内においては、臼杵地区の臼杵市中央公民館と、野津地区の野津中央公民館が同伴避難可能な避難所として指定されており、ケージに入れることでペットと同じ空間で過ごすことが可能である。なお、他市の取り組みとして、中津市の中津アリーナでは簡易パーテーションやテントを活用した専用避難スペースが整備されるなど、さらなる先進的な事例も見受けられる。
- 高齢者の方などから「災害時に一緒に逃げられないかもしれないから、新たに犬を飼うのを躊躇している」といった声を聞くことがある。
- 諏訪山の市営ドッグランについては、フェンスの仕切りが不十分なため、大型犬が中型・小型犬ゾーンへ抜けてしまう事案があり、飼い主が不安を感じて利用しづらい状況にある。また、全体的な管理や清潔感にも課題が見受けられる。一方で、適切に整備され、「日陰の確保」「清潔な環境」「安全性」が担保されるのであれば、有料化してでも利用したいと考えている飼い主は多い。
- ペット同伴可能な観光ルートや飲食店を一覧化したマップの作成や、RVパークの設置などにより、ペットツーリズムの推進を図ってほしい。
- 高齢者が入院や施設入所を理由にペットの飼育をためらうケースがあるため、最後まで安心して一緒に過ごせる施設や預けられる仕組みが求められている。

市長からは、以下のような話がありました。

- 「臼杵湾わんマルシェ」には、市内外はもとより県外からも多くの来場者が訪れていた。ペットを通じた交流の広がりに加え、緑地公園の魅力的なロケーションも相まって、臼杵の魅力を改めて実感する機会となった。イベントの成功に感謝するとともに、これを契機とした今後のさらなる地域活性化に期待したい。
- 今回の対話で、災害時のペット避難・ドッグランの整備・ペットツーリズム・高齢者とペットの共生など、多くの「臼杵らしい未来像」のヒントをいただいた。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！



